

# かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和4年1月号



## 英語交流授業～タブレットを使って～

12月16日に6年松組が祢津小学校の6年1組と、23日に6年竹組が田中小学校の6年2組と英語の合同授業を行いました。



お互い自己紹介をした後「What ~ do you like?」や「When is your birthday?」といった英語を使って、相手の誕生日や好きなスポーツ、好きな料理やテレビ番組などをインタビューしました。みんな初対面ですから最初はかなり緊張気味でしたが、さすがは子どもたち。すぐに打ち解け、趣味や好きなものが重なると大盛り上がりでした。自然に「Me too.」と相づちを打つ子も見られました。事前に決めてあった質問以外のことも積極的に尋ねる子が多く、最後は「また中学校で会えるね!」「同じ学校に行けるから楽しみだね!」と嬉しそうに会話をしていました。

## みんなで力を合わせよう!～東御市をより美しく～



1月25日に和小をはじめ、東御市内の6年生が「ごみ拾い登校」をして、東御市の美化に取り組みました。英語の合同授業の日に、祢津小のみなさんから「東御市を一緒にきれいにしませんか。」とさそってもらったのがきっかけです。寒さが厳しい朝でしたが、「えっ!こんなに落ちてたの?」と私たちが驚くほどたくさんのゴミを片手に6年生が登校してきました。

登校後は、みんなでごみの分別をしました。「他の学校のみんなもたくさん拾ったのかな…。」と交流した友だちのことを思い出している子どもたちが見られました。



☆思っていたよりたくさんのごみが通学路に落ちていてびっくりしました。落ちたゴミが風で流れて、海や川に影響が出ているところを想像すると、地球や海などの環境保護のために通学路以外でも少しでも多くごみ拾いをしたいなと思いました。

☆タバコや空き缶、マスクなど、いろんなゴミが落ちていた。「ポイ捨てをする人があるんだな。」とあらためて思った。ポイ捨てをする人を少しでも減らしたいと思った。自分もポイ捨てをしないように気をつけたいと思います。心がけていきたいです。

## ウインタースポーツを満喫その①～2・3年生スケート教室～

1月13日に上田市民の森で2・3年生スケート教室が行われました。児童館の荒井館長さんがお手伝いに駆けつけてくれ、子どもたちに靴紐の結び方を丁寧に教えてくれました。とは言っても、2・3年生にとってスケート靴の紐をきつく結ぶことは容易ではありません。荒井館長さんと職員が一人一人きちんと結べているかをチェックしてから子どもたちをリンクに出しました。次のミッションは、内側のリンクまで移動することです。ハイハイをしてたどり着いた子ども



たちは、手すりにつかまりながら「ガツガツ」と音を立て、小さな歩幅



でリンクを歩いて回り始めました。午前中は恐る恐るだった子どもたちも、お家の方が心を込めてつくってくれたおいしいお弁当を食べ、気力も体力も満タンになったのでしょう。午後は積極的に外側の大きなリンクに出て、転ぶことも恐れずに果敢に滑っていました。3年生の中には、大きなリンクを50周もした子がいました。「また家族で来たい！」という声がたくさん聞かれ、2年生も3年生も大満足でした。精一杯練習した子どもたちは帰りのバスに乗った途端にグッタリ。まるで誰も乗っていないかのように静かな車内でした。





## 校舎内がとても華やかに～市内図習展・校内書き初め展～



1月7日～14日まで、東御市内の小中学生のみなさんの絵や書道作品を展示する図習展が、11日～21日までの間は、冬休みに一生懸命取り組んだ作品を展示した「校内書き初め展」が行われました。力作ぞろい、休み時間に廊下で足を止めて作品を眺める子どもたちの姿が見られました。

## 白熱！児童会選挙運動～2月1日投票に向けて～



和小学校の来年度のリーダーを決める児童会長選挙が2月1日に迫りました。25日(火)からは、候補者の教室訪問と校舎内での呼びかけ活動が始まりました。応援責任者をはじめ、学級の友だちも、選んだ候補者のために精一杯協力してくれています。2人の選挙ですので、どちらかが当選、どちらかが落選ということになりますが、この経験が、必ず将来に役立つ力となります。選挙を通して学級や学年の絆を深めてほしいです。

## ウインタースポーツを満喫その② ～和小でそり教室～



21日、どこからか1年生の楽しそうな声が聞こえてきました。教室を覗くと、机上には国語の教科書が。でも一人の子もいません。それもそのはず、前日の雪で、大土手が「雪の滑り台」となっていたのですから、こんなチャンスは逃せません。教室での学習はとりあえず延期！湯の丸高原でのそり教室は中止でしたが、「和小ゲレンデ」で雪遊びを思う存分楽しみました。青天の中、太陽光を反射した一面の雪が眩しく見えたが、それ以上に1年生の笑顔がキラキラ輝いていました。

## 寒い中本当にありがとうございます



寒さが厳しいせいか、子どもたちのあいさつの声は少し元気が無く、背中を丸めてうつむきがちに歩いてくる子どもたちも少なくありません。そんな子どもたち一人一人に爽やかに声をかけ、安全を確保してくださっている見守り隊の方の姿を見かけました。この場所に来ると、多くの子が決まって尋ねます。「ねえ、今何時？」と。すると、腕時計を見て、全員に「〇時◇分だよ。」と優しく教えてくださいます。

先日、まだ真っ暗な中、大川地区から東上田方面に向かって、長い距離、歩道の雪かきをしてくださっている地域の方の後ろ姿を見かけました。本当にありがたいことだと感じました。地域の皆様が、和小的子どもたちを大切にしてくださっていることをまた強く感じさせられました。せっかく地域の方が一生懸命、和小的子どもたちを守ってくださっています。ですから、ぜひ、和小的のみんなにも、自分の身を守るために、手袋をしてポケットからは手を出して、万が一転倒した時に顔や頭に怪我をすることがないようにしてほしいです。保護者の方からも、元気なあいさつと合わせて、子どもたちにご指導ください。

新型コロナウイルスの感染拡大に拍車がかかっています。引き続き、本人はもちろん、家族に発熱や喉痛、咳、だるさ等、かぜ症状や体調不良が見られる場合は登校を控えていただくようご協力をお願いいたします。

## 2月の予定

1日(火) 児童会長選挙立会演説会

2日(水) 児童会長選挙結果発表

3日(木) 児童会

CS「かのう学校」運営委員会→中止

9日(水) スクールカウンセラー来校日

10日(木) 3・4年参観日→参観授業は中止

11日(金) 建国記念日

14日(月) 第3回学校評議員会

15日(火) 5年和記念館清掃

16日(水) 1・2年参観日→参観授業は中止

17日(木) 第2回児童総会

22日(火) 準備児童会

23日(水) 天皇誕生日

24日(木) 地区児童会

25日(金) 5・6年参観日

\*\*\*\*\*

休眠打破に欠かせない冬の寒さが、今年のことさら厳しいと感じます。植物にとってこの寒さは、春の開花や息吹につながる大切なもの。葉を落とし寝ているふりをしている植物は、地面の下でしっかりと根を伸ばしています。植物の逞しさを感じます。

子どもたちの成長にとっても大切な冬の季節、3学期に感染拡大が止まりません。小説『ペスト』の主人公医師リウーが、ペストと戦う唯一の方法は、誠実に自分の職責を果たすことだと言っています。エッセンシャルワーカーの方々ばかりでなく、大人はそれぞれの職責を果たすこと、そして子どもたちにとっては学び続けることが、コロナウイルスと戦い、打ち勝つ道であると思います。とはいえ、感染拡大がその職責を果たすことを妨げるかもしれません。今後も子どもたちの学びを止めないことを最優先に考え、できることをできる範囲で行ってまいります。ここは植物の逞しさ、しびとさ、柔軟さを見習う時です。

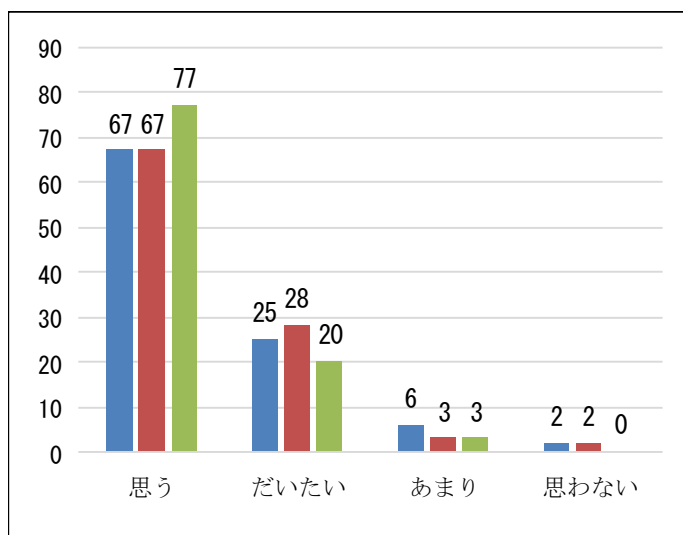
文責・作成：校長 教頭

## 学校自己評価アンケートの結果（児童）から

本年度も和小学校では、10月に「学校自己評価アンケート」を実施しました。今回は、その中から児童へのアンケートの主な項目について、結果を過去3年間の推移がわかるように紹介します。

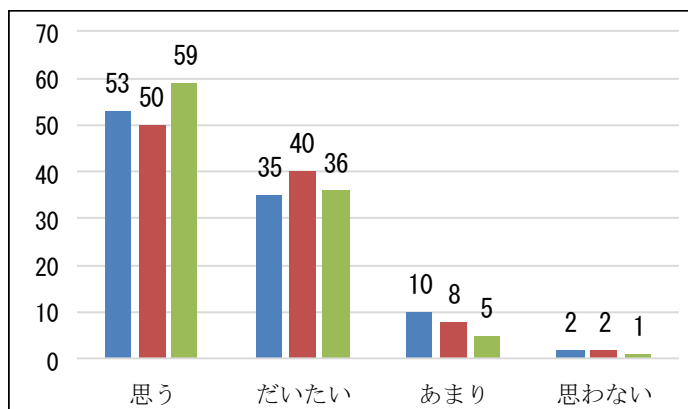
※グラフは左から令和元年度、2年度、3年度の順番で、数字は%で表示されています。

### Q1 学校は楽しいですか。



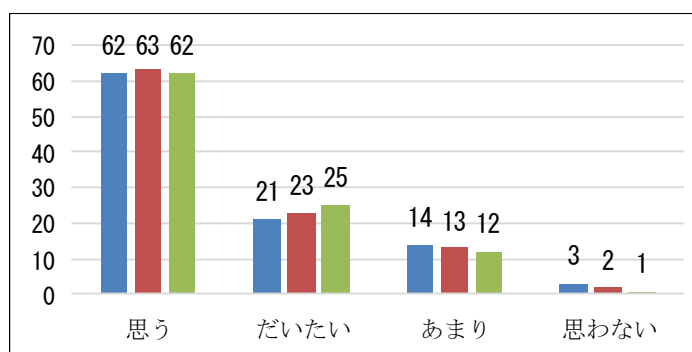
「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせると、ほとんどの児童が学校生活が楽しいと感じていることが分かる。また、令和元年度からの経年変化に注目すると、「そう思う」と回答した児童の割合が過去2年間と比べ10%も増えていることが分かる。さらに、「思わない」と回答した児童が0%であることも今年度の特徴である。子どもたちが願いや思いをもって課題に取り組み、自らの学びを実感できるような指導を心がけてきたことが実を結んだと考えられる。今後もその視点を大切にしながら、「あまりそう思わない」と回答した児童に寄り添い、指導の改善を図っていきたい。

### Q2 友だちや先生、地域の人に、元気にあいさつをしていますか。



ほとんどの児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答している。また、令和になってからの3年間で「そう思う」と回答した児童の数が一番多い。横断歩道を渡ってから運転者の方へお礼のあいさつをする姿が地域の方から評価されていることから、本校児童のあいさつの意識は高いと思われる。自信を持って「そう思う」と回答できるように「伝わる」あいさつを今後も指導していきたい。

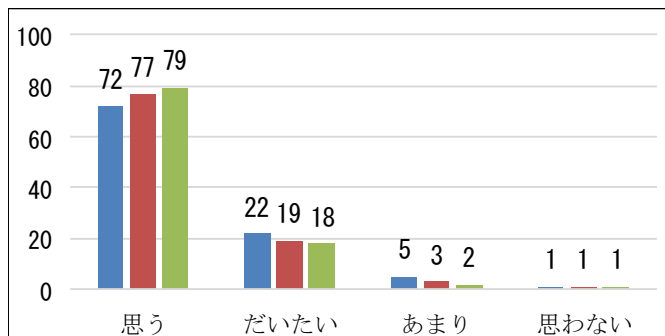
### Q4 外で元気よく遊んだり、運動に親しんだりしていますか。



「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた数値が高まってきているのがわかる。学校での体育の時間や休み時間が充実するように、場を工夫したり、体を動かすことの楽しさが味わえるような遊びやスポーツを紹介したりしてきた。外遊びの苦手な児童が、休み時間などに遊べる工夫が今後も必要と思われる。

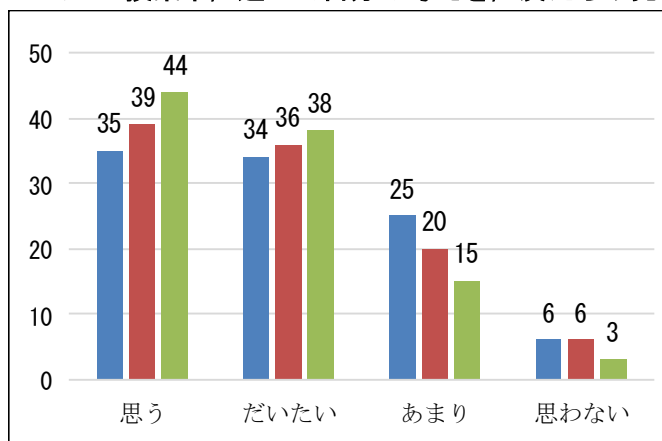


**Q6 友だちと仲よくできていますか。**



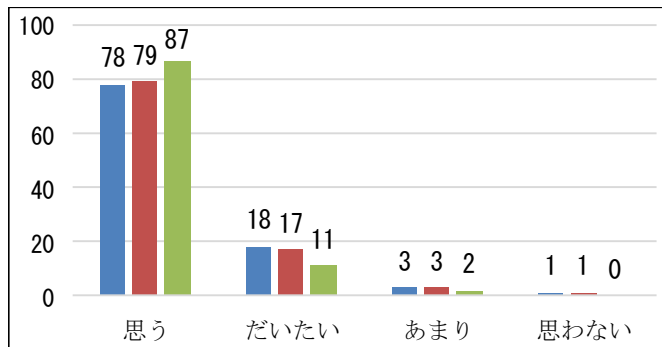
「そう思う」と回答する児童が年々増加している。また、「あまりそう思わない」と回答する児童が減っていることから、多くの児童が友だちと仲良く学校生活を送っていると思われる。友だちと仲良く関わることができないと思っている児童が一人でも減少するように、子どもたちの表情やしぐさ、人間関係の様子を引き続き注意深く見守っていききたい。

**Q7 授業中、進んで自分の考えを、友だちや先生に伝えていますか。**



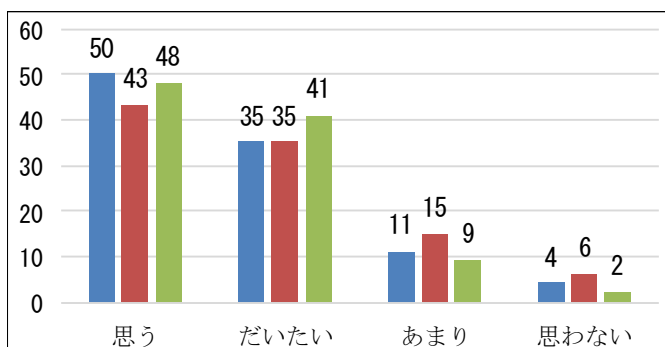
「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童が増加している。昨年度の反省から、発言だけを表現と捉える向きがあるので、発言以外の表現方法を模索したり、それに合った学びのスタイルを認めたりしてきた。大勢の前では自分の考えを伝えることに抵抗がある児童でも、自分の考えをタブレットに入力し発信することで、伝えることができるようになった。今後も、ICTの活用を含めた表現の方法を模索していくことで、児童が自信を持って自分の考えを伝えられるようにしていきたい。

**Q9 学校の先生は、困ったときに、相談にのってくれますか。**



「そう思う」と回答した児童の割合が増加し、「だいたいそう思う」と合わせてほとんどの児童が、先生は困った時に相談に乗ってくれると思っていることが分かる。毎月「学校生活アンケート」で困りごとがないかを調査するだけでなく、これからも気軽に相談できる雰囲気づくりに努め、丁寧に対応することで児童が安心して学校生活を送れるようにしていきたい。

**Q10 宿題を忘れずにやったり、持ち物をちゃんと持ってきたりすることができますか。**



「そう思う」「だいたいそう思う」共に昨年度と比べ増加傾向にある。一方で「あまりそう思わない」「思わない」と回答する児童も一定数いる。児童や家庭の実態を把握し、保護者の方と連携しながらきめ細やかな指導を心がけていきたい。